

社会福祉法人 宰府福祉会 ～一人ひとりを大切に～

2022. 10

32号

社会福祉法人 宰府福祉会  
<http://saifu-fukushikai.com>

法人本部事務局

福岡県太宰府市大佐野761-1

発行責任者：草本武俊

編集委員会

# わかたけ

## 目次

2・3ページ 「さいふ」ができました / 4・5ページ 宰府福祉会ってこんなところ  
6ページ コミュニティインフォメーション (地域情報)



## ● アクティビティセンター

アクティビティセンターは直訳すると「活動センター」という意味です。今まで「宰府園」に通っていた利用者さんたちの活動・作業場所となります。

「宰府園」は、45年前に「重度身体障害者授産施設」としてスタートしました。脳性麻痺や交通事故、病気による障がいのある方たちが、木工作業や軽作業をしながら、生活する施設でした。途中、制度が変わり今は「障害者支援施設」として、生活を続けています。日中は「生活介護」「就労継続支援B型」という2つの事業を展開しており、創作やレクリエーションを楽しむ活動と軽作業をはじめ生産に携わる就労系の作業にみなさん参加していますが、入所と通所の利用者さんが混在し、多い時は50名余りがひとつの場所で活動・作業している状況でした。

2年半前の4月、新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言が発出されました。「宰府園」でまず取り組んだのは、入所と通所の分離でした。混在することで「密」空間になってしまうことはもちろん、生活の場が異なることで、相互に感染リスクも高まるためでした。1階部分にある活動室を通所者、2階部分の食堂や木工作業室を入所者の活動の場とすることで、感染リスクが軽減されたことはもちろん、利用者のみなさんがそれぞれ落ち着いて過ごしている様子を目にしました。主たる障がいが身体にある入所のみなさんと、知的・発達障がいを主とする通所のみなさんとは支援方法も異なり、提供する作業や活動内容も当然違います。分かれてみて気づいたことでもありました。今年10月にオープンした「アクティビティセンター」は知的・発達障がいの方の割合が多い通所の皆さんが活動、作業するところです。木造の建物には広めのウッドデッキがありますので、開放的な空間の中、ゆったり過ごすことができます。



就労B型の作業風景



生活介護の活動風景



各自ゆったりと過ごしています。

## ● コミュニティホール

コミュニティホールは「地域の方たちと交流できる開放されたホール」として、アクティビティセンターの2階につくられました。体育館を思わせる広々としたホールで、成人80名程度を収容でき、ダンスなどの軽い運動や学習会、会議などに活用できます。

昨年、宰府園は福祉避難所として太宰府市と協定を結びました。このホールは災害時、福祉避難所としても使う予定です。また、自治会はじめ地域の方々、各関係機関など「コミュニティ」の方たちの集いの場としても活用できます。コミュニティホールを活用して頂くために運営規程も整備しております。ご利用希望の方はお問合せください。

45年間、「コミュニティ」に支えられ、「コミュニティ」の一員として「宰府園」は続けてきました。これからも、地域とともに歩いていきたいと思えます。

「アクティビティセンター・コミュニティホールさいふ」はそんな思いが詰まった施設です。今後ともよろしくお願ひします。

(宰府園 大内田)



### 落成式

10月1日(土)に「アクティビティセンター・コミュニティホール さいふ」の落成式が執り行いました。

太宰府市長様をはじめ、関係者・関係機関・地域の皆様方たくさんの方にご参加していただき、誠にありがとうございました。



早速、ホールを利用しました。

### 「さいふ」で法人職員研修会

9月10日(土)に職員への「さいふ」のお披露目も兼ねた法人職員研修会を行いました。今回は『法人事業の目的に向かって各事業の目標達成を考える』をテーマに、草本理事長より事業計画について支援の本質に触れながらご講話いただいた後、深町本部長、各施設長より各事業計画の進捗報告を受け、午後にはグループワークにて事業計画、活動計画の今年度後期の更なる推進に向けた意見交換と虐待防止研修を行いました。

今後も「さいふ」にて、様々な会議や研修の機会を持ち、法人職員の育成、質の向上に向けて取り組んでまいります。

(本部 開)



### 10月14日(金)の夕方、「さいふ」でダンスを楽しみました。

「すみれ園」が福岡県から受託している「療育支援事業」で、長年、エアロビクスを通し、子供たちに療育的なサポートをして下さっている明石氏によるダンス教室です。毎回、アニメソングに合わせて、こどもも大人も体いっぱい使って、楽しみます。新しくて広いホールはダンスにピッタリ。いつもより上手に踊れるような気持ちになりました。

(本部 高浪)



# 宰府福祉会って、こんなところ！

ライフステージに応じた法人内サービスをシリーズでお伝えしています。

幼児期～学齢期  
(～18歳)

成人期 (18歳～)

## ●児童サービス



- 【児童発達支援】 すみれ園
- 【保育所等訪問】 すみれ園
- 【受託事業】 にじいろキッズ (那珂川市療育センター)
- 【放課後デイ】 すみれ園 たんぼぼルーム
- 【受託事業】 つくしんぼルーム (太宰府特別支援学校 放課後等支援事業)
- 【受託事業】 障害児等療育支援事業 (福岡県受託事業)

住む

## ●居住系サービス

- 【施設入所支援】 宰府園
- 【グループホーム】 GHやまもも・アングンテ・春日ホーム
- 【短期入所】 宰府園・GHやまもも

働く

## ●就労系サービス

- 【就労継続B型】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託)
- 【福祉的一般就労】 さぼーと春日

活動

## ●日中活動系サービス

- 【生活介護】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託) ・にじ (受託)
- 【日中一時】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託)

訓練

## ●訓練系サービス

- 【就労移行】 ゆり工房 (受託)
- 【自立訓練】 にじ (受託)

計画  
相談

## ●相談系サービス

- 【計画相談・障がい児相談】 やまもも・すみれ園相談支援センター

訪問

## ●訪問系サービス

- 【居宅介護・同行援護・移動支援】 宰府園在宅サービス

## 第6回 「居住系サービス (施設入所支援・共同生活援助・短期入所)」

### ●施設入所支援

成人期(18歳～)

住む



#### 暮らしの場と生活上の支援を提供するサービス

施設に入所する障がいのある方に対して、主に夜間において、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談・助言のほか、必要な日常生活上の支援を行います。

生活介護などの日中活動とあわせて、こうした夜間等におけるサービスを提供することで、障害のある方の日常生活を一体的に支援します。

#### 宰府園

「宰府園」は24時間365日の入所施設です。

コロナ禍でご家族面会、外出、帰省に伴う外泊など制限した2年半、入所のみなさんの「生活の質＝QOL向上」を図るべく、サポートしてきました。

当たり前のことですが、人は基本的な欲求が満たされるだけで生きているわけではありません。「宰府園」では、いち早く移動販売車に来てもらい、買い物不便を解消すると同時に、手に取って選べる楽しさを提供したり、小グループで花見ドライブや外出もしました。定期的にニーズ調査を行い、それを受けて「夏フェス」や「文化祭」、「和カフェ」、「フリーマーケット」なども開催し、日常にささやかな楽しみを取り入れてきました。これからも、利用者の充実した生活につながる支援を提供していきたいです。

(宰府園 吉福)

#### ＜入所までの流れ＞

行政、相談事業所等  
への相談



施設を見学



ショートステイ  
(体験宿泊)



入所決定会議



入所決定

**決定!**

# 宰府福祉会って、こんなところ!

## ●共同生活援助（グループホーム）

### 地域での少人数の共同生活を支援するサービス

障がいのある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

このサービスでは、孤立の防止、生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されます。



### GHやまもも

グループホームやまももでは、利用者一人ひとりの生活リズムを大切にしています。休日は自宅に帰られる利用者もいるので、家庭の状況の変化に合わせた支援を行っています。

月に1回、利用者の誕生日会やお菓子作り、「制作活動」など季節を感じられる行事を行い、生活の中で楽しめる活動にも取り組んでいます。

日々の生活の中で利用者同士、互いに支え合いながら自立した生活を送れるよう「役割活動」なども取り入れています。



(やまもも 野中)

### 寺内ホームアンダンテ

アンダンテは、定員6名で、現在4名の方が入居されています。

日中は通所施設に通われている方、一般就労をされ、職場に出勤されている方と様々です。

コロナ禍で、行動や活動の制限もありますが、安全や健康に配慮しながら、外出(買い物など)や日常生活(掃除や洗濯など)の中で、利用者の皆さんが考え、行動できる場面を増やし、自立した生活の継続ができるように、支援を行っています。



(やまもも 内野)

## ●短期入所



### もしもの時だけでなく介護者の休息のためにも利用できるサービス

自宅で介護を行っている方が病気などの理由により介護を行うことができない場合に、障がいのある方に障害者支援施設や児童福祉施設等に短期間入所してもらい、入浴、排せつ、食事のほか、必要な介護を行います。

このサービスは、介護者にとってのレスパイトサービス(休息)としての役割も担っています。

### 宰府園

コロナ感染拡大に伴い、この2年半、ショートステイの受け入れはできませんでした。第7波が収束し、今後の見通しも明るくなった今、これからは定期利用の方はもちろん、入所希望の方や宿泊を伴う学生の実習など体験的利用も受け入れて行く予定です。

感染リスクがなくなったわけではありませんので、感染状況次第で制限することもあると思いますが、段階的に少しずつ受入を広げていく方向です。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

(宰府園 吉福)

### GHやまもも

短期入所では、家庭での生活リズムを大切にしながら過ごしてもらえよう支援しています。また、個人のペースを大事にしながら、集団でのルールを守って生活する練習もしています。入浴や排せつ、食事では、利用者自身でできるところはしてもらうなどの自立支援も行っています。

安心して短期入所を利用していただけるよう、一人ひとりとコミュニケーションをこまめに取りながら余暇支援も行っています。

(やまもも 唐島)



## 不入道区の皆さんとの交流



やまももがある那珂川市不入道区様から、敬老の日に75歳以上の皆様に贈る記念品72個の注文をいただきました。不入道区様からこのような受注は初めてで、「いいモノを作ろう!」と張り切りました。『来年も元気で長生きしてください』との意味も込めて、来年の干支のウサギの置物が無事に完成しました。

9月19日の敬老会当日、公民館長と公民館役員の方たちが、一軒一軒訪問して、手渡しされたそうです。皆さんが笑顔で記念品を受け取ってくださった写真を後日見せていただき、やまももの利用者・職員とても嬉しかったです。ありがとうございました。

(やまもも 石橋)



## 『いきいきフェスタ春日』3年ぶりに開催!

10月16日(日)に健康・福祉・子育てをテーマに春日市主催による『いきいきフェスタ春日2022』が3年ぶりに開催されました。

今年は、春日市制50周年の節目の年です。関係機関と協力して準備を進めてきましたが、コロナ禍での3年ぶりとなる開催ということもあり、地域の皆様に来ていただけるのか心配でした。

当日、天候にも恵まれ、ゆり工房は「体験コーナー」と「販売」で参加しました。「体験コーナー」では、マフィンやキーホルダー、ビーズアクセサリー作りを通してお子様や地域の方々と笑顔で交流する姿が見られ、「販売」ではパンが完売するなど大盛況でした。

春日市のマスコットキャラクターである「かすがくん」「あすかちゃん」もかけつけて、大いに会場を盛り上げてくれました。子供から大人まで楽しめるイベントとなっており、利用者みなさんも、色々な体験をしながら地域の方々と交流し、楽しそうでした。

3年ぶりの開催は「withコロナ」の地域交流、地域貢献につながる良い機会になったのではないかと思います。

(ゆり工房 古賀)



## 『編集後記』

現在、宰府園では「クリーンタイム」といって、職員も利用者も皆で協力し合って、館内の掃除をする時間を作っています。

掃除というのは、部屋をきれいにするだけでなく、人の心を穏やかにする効果もあるそうです。

私自身も“行き詰っている時”や“モヤモヤする時”など実際にやってみると気持ちが落ち着いて、アイデアを閃いたり、業務が整理されて業務効率が上がったりしました。時間に追われている時こそ、このような余裕が必要だと実感しました。

皆さんも是非やってみてください。おススメですよ。



(本部 羽根田)